**日本技術士会_会長賞**

筆者は 2002 年から現在まで、技術士法に基づく技術士としての活動を継続し、その間、2007 から 20012 年まで日本技術士会経営工学部門有志交流会の幹事を務めました。また、この間、長年にわたり参画した ISO/IEC_JTC1/SC7 の国際標準化の成果であるシステムの品質要求と評価の枠組みに基づいて考案した新しい TQM[1]のフレームワークを生産管理システムに適用し、これまで、個別の管理テーマとされてきた設計から品質保証に至る生産管理の 14 の業務及び管理プロセスのモノ、情報、金の流れと相互の関係を整理し、図 1 に示す体系化を図りました。さらに、これらの成果を 7 名の技術士_経営コンサルタントと共に執筆し､2009 年に｢これならわかる生産管理｣を日本技術士会経営工学部門生産研究会として工業調査会から出版し、取りまとめ監修を務めました。

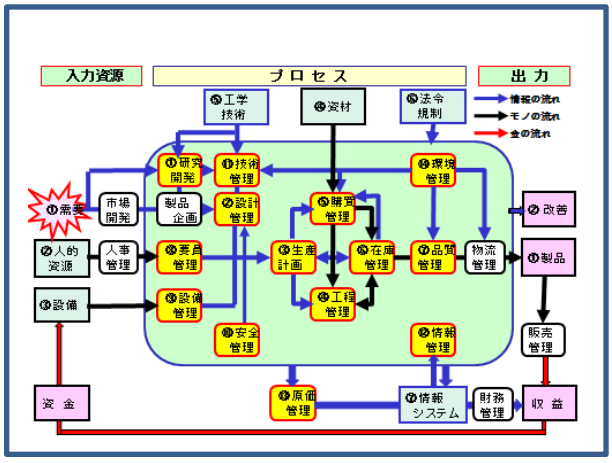


**図 1 生産管理のフレームワーク_[2]**

さらに 2008 年から 2011 年まで、日本経営工学会、日本 IE 協会及び日本技術士会 3 団体連携の下に､｢持続的で幸福な社会の実現｣に向けた経営工学の将来ビジョン策定に交流会幹事の立場で参画しました。

この活動では、前述した ISO/IEC のシステム品質モデルに基づいて考案した図 2 に示す｢3 次元統合価値モデルの概念｣を適用し、2011 年｢経営工学ビジョン 2050（日本技術士会編)｣の完成に貢献しました。経営工学ビジョン 2050 は学会、産業界、政界の関連団体に公表され、現在、これらの成果は、日本経営工学会のマネジメント科学 2050 に引き継がれています。

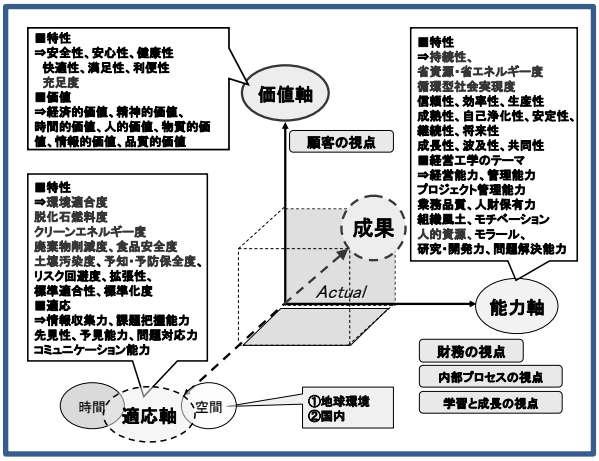


**図 2 3 次元統合価値モデルの概念_[3]**

**参考文献**

[1] 江崎和博、｢ものづくりに役立つ経営工学の事典-180 の知識（経営工学会編)｣ 3 章 49:品質管理、50:品質保証、51:TQM、（株）朝倉書店（2014）

[2] 江崎和博監修、｢これならわかる生産管理｣MMBOK 全 307 頁､監修及び 160 頁執筆（株）工業調査会（2009）

[3] 江崎和博、他、｢経営工学ビジョン 2050-持続可能で幸福な社会の実現と経営工学｣、日本経営工学会、日本インダストリアル・エンジニアリング協会、日本技術士会共編、第Ⅱ部第4章、第5章 pp57-82執筆、（2011）